

文教委員会資料

【新川崎地区新設小学校の開校に向けた取組について】

資料 新川崎地区新設小学校の開校に向けた取組

参考資料 仮称新川崎小学校 落札業者一覧

令和5年6月1日
教育委員会事務局

1 これまでの経緯

- ・新川崎・鹿島田駅周辺地区は、大規模共同住宅が複数整備され、子育て世代を中心に人口の増加が進んでいるため、令和7年4月開校を目標に新設小学校の整備を進めている。
- ・令和2年度に基本計画を見直し、「地域と共に、ひとや環境にやさしい未来を創る次世代小学校」を基本理念とし、(1) 高機能かつ多機能で弾力的な施設環境の確保、(2) 地球環境へ配慮し、持続可能な社会の構築への貢献、(3) 地域の交流や多様な活動を支える、安全・安心な地域コミュニティの核の形成 を基本方針としている。

■ 令和2年度以降の取組

令和2年度	学校用地取得、基本構想・基本計画の見直し
令和3年度	基本設計完了
令和4年度	立替施行の協定締結（川崎市まちづくり公社）、実施設計完了

2 工事契約の締結

- ・一般財団法人 川崎市まちづくり公社において、令和5年4月10日付けで建築工事契約を締結
- その他、電気設備工事、空調設備工事、衛生設備工事、昇降機設備工事の計5契約を締結して工事を実施する。



※建築工事に関する内容は以下のとおり。

- (1) 工事名
仮称新川崎小学校新築工事
- (2) 工事場所
川崎市幸区新小倉 545 番 83、84、86
- (3) 契約方法
総合評価一般競争入札
- (4) 契約金額
6,820,000,000 円（消費税及び地方消費税含む。）
- (5) 履行期限
令和7年1月15日
- (6) 契約の相手方
山根・野州・ハヤカワ共同企業体
代表者：株式会社 山根工務店
構成員：野州工業 株式会社、株式会社 ハヤカワ
- (7) 構造・規模
ア 校舎・体育館 鉄骨造 地上4階建て 19.75m
イ 屋外倉庫 木造 平屋建て 3.47m
- (8) 建築面積
6,459.53 m²
- (9) 延床面積
17,660.82 m²

3 通学区域の検討状況

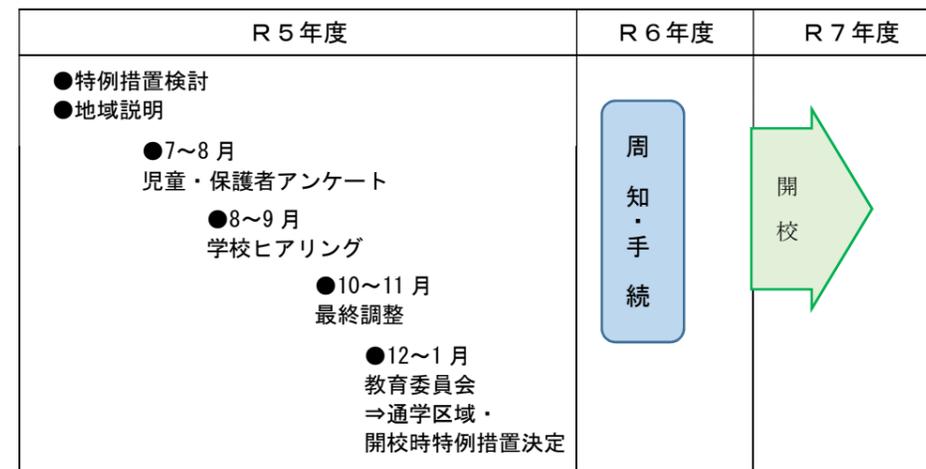
(1) 児童推計による検証

- ・令和13年度頃にピークを迎え、予測児童数は約1,300人、予測学級数は約40学級を見込む。
- ・少なくともピークが緩和するまでは大規模共同住宅が建設される地域のみを通学区域とする必要がある。

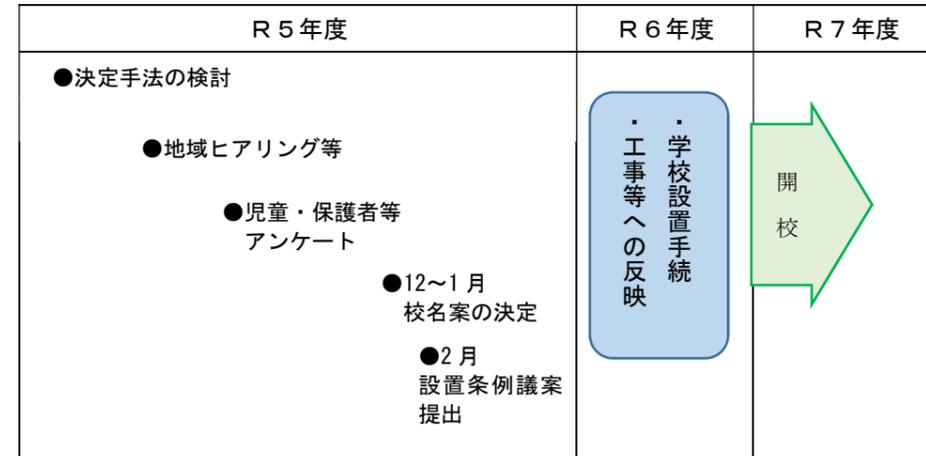
年度	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	R16
児童数	581	790	993	1,149	1,238	1,284	1,306	1,281	1,208	1,137
学級数	19	26	32	36	39	40	40	39	37	35

(2) 検討スケジュール

- ・通学区域の検討内容や基本的な考え方について、アンケート等の実施前に周辺地域（主に小倉3丁目地域）へ説明
- ・大規模共同住宅から、すでに小倉小学校及び東小倉小学校へ通学している児童に対する開校時特例措置を検討（児童・保護者を対象としたアンケートを実施）
- ・アンケートに基づき、学校ヒアリング及び調整の実施

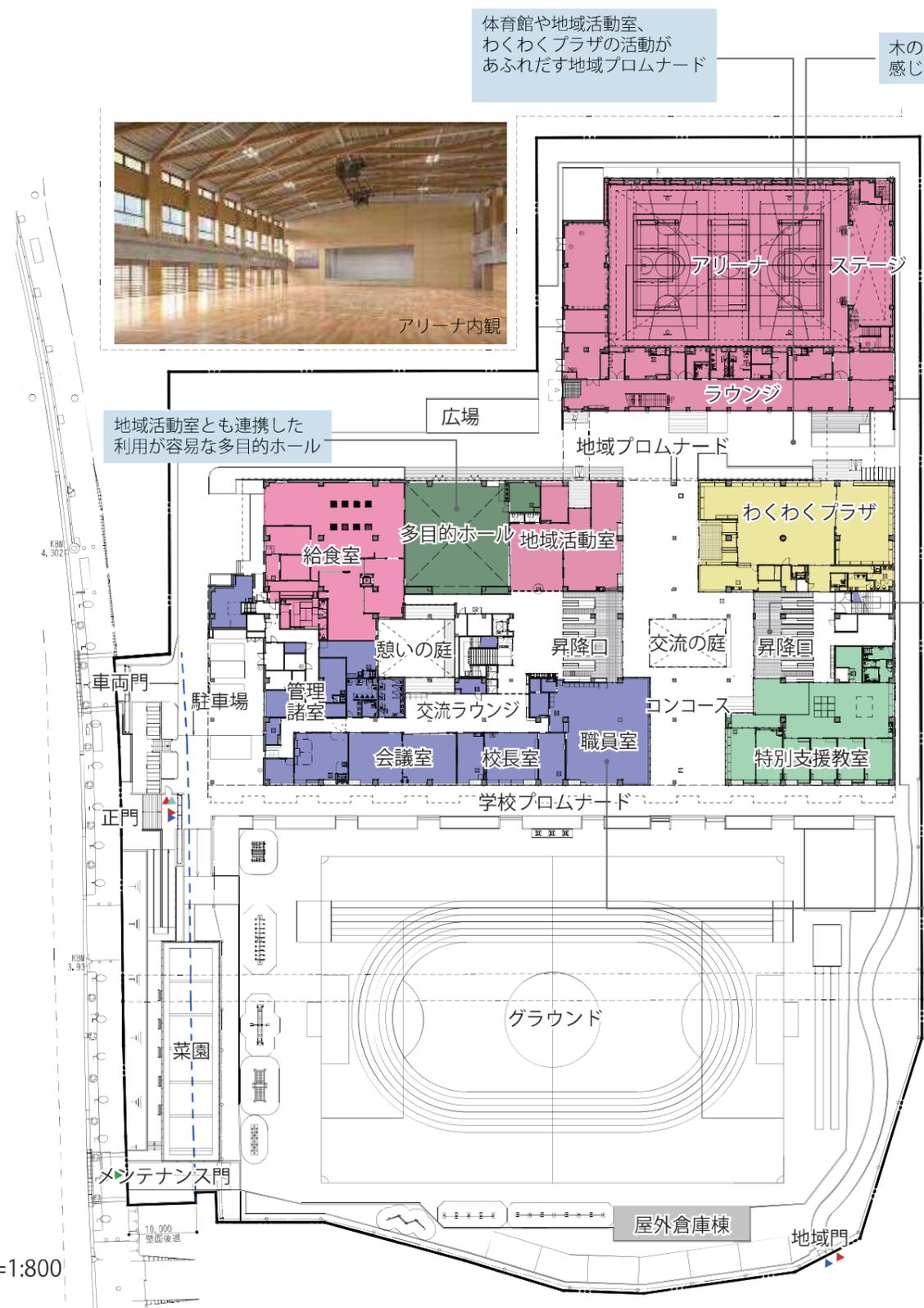


4 校名の検討について





アリーナ内観



体育館や地域活動室、わくわくプラザの活動があふれだす地域プロムナード

木の温かみを感じられるアリーナ

地域活動室とも連携した利用が容易な多目的ホール

広場

地域プロムナード

わくわくプラザ

多目的ホール

憩いの庭

交流の庭

コンコース

学校プロムナード

グラウンド

菜園

メンテナンス門

屋外倉庫棟

地域門

S=1:800

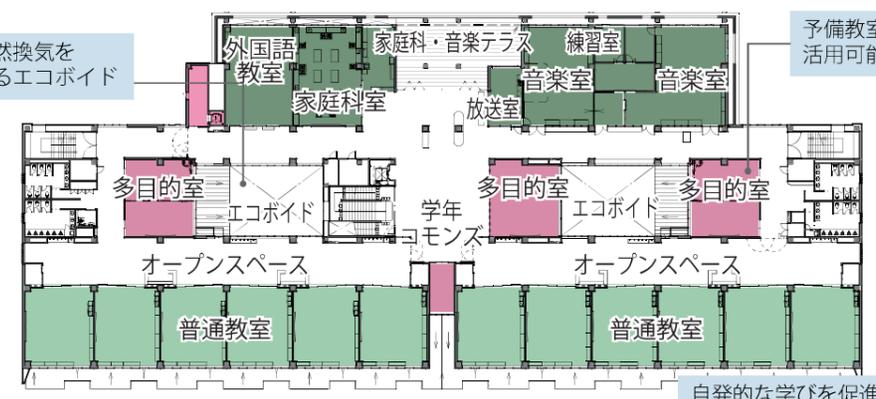
1階

凡例	普通学級	特別教室	その他	わくわくプラザ
	特別支援教室	管理諸室	屋外施設	

採光や自然換気を効率化するエコボイド

予備教室や更衣室として活用可能な多目的室

4階
＜高学年フロア＞

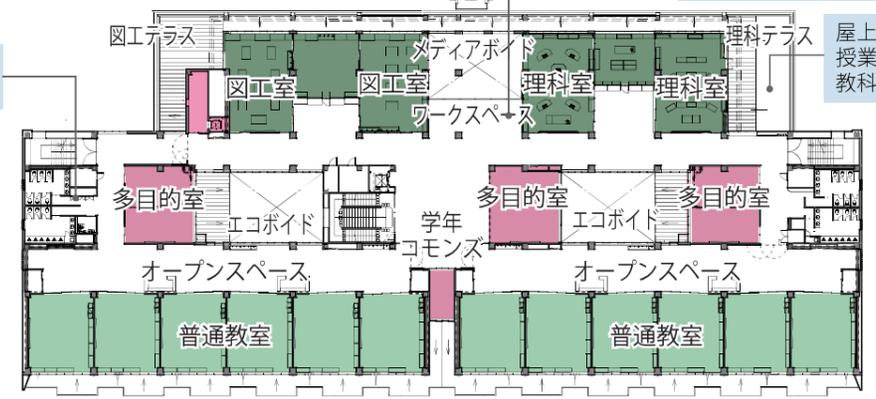


自発的な学びを促進するワークスペース

滞留を緩和した東西のトイレ配置

屋上緑化を行い、授業にも活用できる教科テラス

3階
＜中学年フロア＞

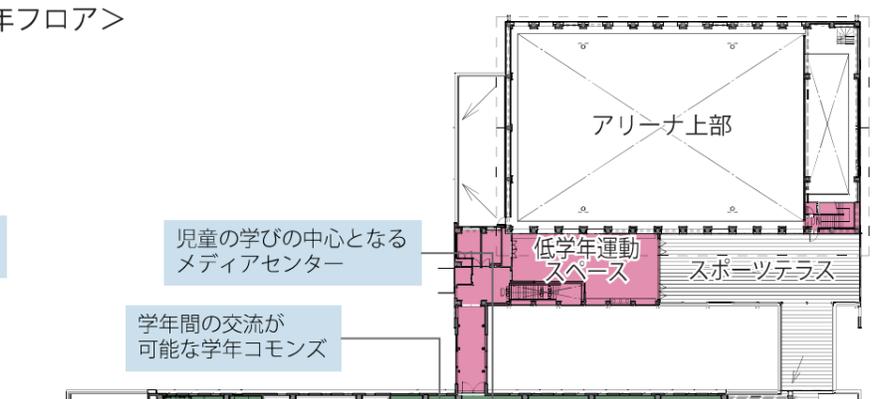


混雑を緩和する分散配置された昇降口

児童の学びの中心となるメディアセンター

学年間の交流が可能な学年 commons

2階
＜低学年フロア＞



南側採光を確保した普通教室

教室と連携し、学びと交流を深めるオープンスペース